

第2次 田村市総合計画

TAMURA CITY 2nd MASTER PLAN

ワクワクがとまらない

自然とチャレンジがいきるまち

田村市

令和4年
田村市



第2次
田村市総合計画

T A M U R A
C I T Y
2 n d
M A S T E R
P L A N



ごあいさつ



田村市長

白石 高司

平成17年(2005年)3月1日に誕生した田村市は、「あぶくまの人・郷・夢を育むまち～はつらつ高原都市 田村市～」を将来像に掲げ、その実現のため、平成19年(2007年)3月に策定した田村市総合計画前期基本計画及び平成27年(2015年)2月に策定した後期基本計画に基づき、様々な施策を進めてまいりました。

この間、平成23年(2011年)3月に発生した東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所事故に伴う一部避難、その後の復旧・復興という大変厳しい道のりを歩んでまいりました。

した。まだ復興道半ばであるこの状況に加え、全国的な人口減少と急速な少子高齢化の進展により、本市においても各分野における担い手不足、産業全体の低迷、厳しい財政運営など多岐にわたる課題に直面しております。

他方、我が国ではあらゆる分野においてグローバル化が進む中、「超スマート社会」(Society5.0)や、持続可能な開発目標としてSDGsを基軸とする取組みなど、本市においてもこれらの考え方に対する対応が必要となっております。



また、令和2年（2020年）1月に国内で感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らしの様々な場面において大きな影響を及ぼすとともに、「新しい生活様式」に代表される新たな考え方が、価値観の変容を生み出してきたため、今後、行政活動や社会経済活動に至るまで、ポストコロナに対応した取組みが必要とされてきています。

これらの状況を踏まえ、この第2次田村市総合計画は、本市が直面する課題と新しい社会潮流、変化し続ける社会経済情勢を念頭に、全世代が安心して

暮らすことのできるまち、住み続けたいと願うまちづくりを見据え、策定いたしました。

策定にあたっては、市民参画に重点を置き、幅広い世代の市民が市の将来について話し合うワークショップを開催し、まちづくりに主体的に関わる気運を醸成するとともに、市民目線のニーズを計画に反映いたしました。

これにより市民の皆様とともに掲げる新しいまちの将来像を、「ワクワクがとまらない自然とチャレンジがいきるまち 田村市」に決定し、その具現化に向けた基本目標を「働き

たいまち」「学べるまち」「安心と絆のまち」「住みたいまち」「支えあいのまち」に設定いたしました。

この将来像の実現に向けて、市民の皆様とともに考え、施策を実践してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見やご提案をお寄せいただきました市民の皆様をはじめ、総合計画審議会委員の皆様、Tamura Future ワークショップにご参加いただいた皆様、市議会議員の皆様に心から感謝を申し上げます。

令和4年（2022年）6月



CONTENTS



私たちのまちづくりStory	06
第1編 基本構想	09
第1章 計画の基本事項	10
1.計画策定の趣旨	10
2.計画の位置づけ	11
3.計画の役割	11
4.計画の構成・期間	14
5.近年の主な出来事	15
第2章 まちづくりの基本方針	16
1.まちの将来像(私たちの目指すまちの姿)	16
2.将来人口	17
3.土地利用方針・将来都市構造	18
4.施策体系	22
第3章 まちづくりの目標	23
目標1 働きたいまち(産業振興)	23
目標2 学べるまち(学校教育・生涯学習)	26
目標3 安心と絆のまち(健康・医療・福祉)	28
目標4 住みたいまち(住環境)	30
目標5 支えあいのまち(コミュニティ・行政経営)	32
第4章 復興の加速化	34
1.復興・創生に向けた次なるステージへ	34
2.復興・創生に向けての課題	34
3.復興・創生への施策	34
第5章 計画の推進	35
1.計画の推進体制	35
2.計画の進行管理	36
3.計画の見直し	36
第2編 基本計画	37
まちづくりの目的を達成する戦略ポイント	38
第1章 働きたいまち(産業振興)	41
分野1-1 農林業	42
分野1-2 商工業	44
分野1-3 観光	46
分野1-4 働きやすい環境	48
産業分野の復興事業	50

第2章 学べるまち(学校教育・生涯学習)	51
分野2-1 学校教育、青少年健全育成	52
分野2-2 生涯学習	56
教育分野の復興事業	58
第3章 安心と絆のまち(健康・医療・福祉)	59
分野3-1 健康づくり・医療	60
分野3-2 子育て支援・少子化対策	62
分野3-3 地域福祉	64
保健・福祉分野の復興事業	68
第4章 住みたいまち(住環境)	69
分野4-1 住環境	70
分野4-2 安全な地域	74
分野4-3 関係人口の拡大、移住・定住化対策	76
住環境分野の復興事業	78
第5章 支えあいのまち(コミュニティ・行政経営)	79
分野5-1 コミュニティづくり	80
分野5-2 交流、シティプロモーション	82
分野5-3 行政経営	84
協働・行財政分野の復興事業	88



第3編 まちの現状・課題、市民の想い

1 計画の視点・策定体制	89
(1) 計画の視点	90
(2) 計画策定体制	92
2 本市の現状と社会情勢	94
(1) 本市の現状	94
(2) まちづくりを取り巻く社会情勢	103
3 市民の想い	106
(1) 市民アンケート	106
(2) Tamura Futureワークショップ	110
4 第1次計画(後期基本計画)の進捗	112
5 まちづくりの主要課題	114



参考資料

計画書内の使用写真一覧

117

128

